



本来なら“実りの秋”を迎えていたはずですが、広範囲に度重なる災害の被害は尋常ではありません。また首里城の焼失にも心が痛みます。早く復興されることを願っています。

9月以降、学習・研修で市役所や二つの中村家住宅(旧東方村と大間野町)を訪れる団体がいくつもあります。個人で来館される方々の中にはリピーターの方や市外からの方も徐々に増えつつあるようです。

ドキドキ、ワクワクの学芸員体験

市役所でも受け入れている中学生の職業体験で今年度から行っているものは「学芸員体験」です。学芸員は博物館や資料館、美術館、動物園などで対象となる事柄の調査・研究・保存・展示などを行う専門家です。越谷市には博物館・資料館はありませんが、文化財に関する仕事をしている職員の中にはこの資格を有している者が何名もいます。

この体験学習には6月に市立栄進中学校2年生が参加しましたが(「古民家だより」No.9参照)、2学期に入って市立北中学校2年生、千間台中学校2年生、西中学校1年生がそれぞれ4人ずつ、旧東方村中村家住宅で体験しました。その内容は施設案内、文化財についての学習(埋蔵文化財も含む)、古文書の整理、土器片洗浄、発掘模擬体験です。これらは他の職場とは全く異なることもあって、中学生の皆さんの感想に、職員の方が驚かされることもありました。



発掘模擬体験



古文書保存作業

- ★初めて歴史に触れたという気持ちになって、新鮮でした。
- ★土器洗浄をしていて、とても古い物を触れているんだと思い、感動しました。
- ★どう考えても装飾品にしか見えない家の造りにとても重要な役割があったり、よく見たらリフォームした跡があったりと、昔の人も家に様々な工夫を施していたことに衝撃を受けました。
- ★発掘模擬体験では水平に掘っていくと竪穴住居が出てきてびっくりしました。
- ★発掘模擬体験では水平に掘っていくのが難しかったけど、色の違いに注意して掘ることがわかりました。
- ★市役所の仕事はパソコン(に向かっている)だけじゃないと知ってびっくりしました。

驚きと発見 小学生の見学

【その1】学校と役所の連携による学習

小学3年生の社会科には市域の産業や変遷を学習する内容があります。そのために市役所の職員から説明を受けようと、10月10日に東越谷小学校3年生が市役所を訪れました。

まず越谷市の農業特産物について農業振興課からわかりやすく説明をしました。職員はクイズなどを取り入れ、楽しく学習できるように工夫した資料を使ってお話ししました。次に明治以降の役所の移り変わりについて、生涯学習課から写真や地図を使って説明をしました。役所の場所が度々替わったことに不思議そうでした。

学校を中心に農業振興課―指導課―生涯学習課が連携したこのような教育活動が、より充実していくと良いですね。

【その2】五感を研ぎ澄ます社会科見学



市立千間台小学校と明正小学校の3年生は、5日と13日にそれぞれ旧東方、大間野の中村家住宅に社会科見学に訪れました。施設の中で特に興味深そうな所は土間でした。現代住宅にはない部屋なので、三和土という土の床や上部の太い梁に目をパチクリさせていました。見学している間に、次のような質問が出されました。

- ★中村家の人達は、トイレはどうしていたのですか？(現在残っている客用の便所の話を聞いての質問)



★大戸口の敷居を踏んではいけないのはどうしてですか？

体験学習では旧東方の中村家では唐箕、昔の明かりを学び、大間野では大八車、天秤棒、昔の明かりを学びました。電気やガスが実用化される以前の時代の工夫を考える機会となったようです。

古民家での社会科見学は『昔の暮らし』学習の一環ですが、「何故中村家住宅を残しているのですか？」という質問を小学生から受けたことがありました。その理由はかつての生活を五感を使って検証できることや、各時代に於ける先人の考え方を捉えることができることでもあるでしょう。この小学生の質問に答えていけるような取り組みを心がけたいと思います。

なぜ？（茅葺で雨水が漏れないことの実験）



男女別のトイレがある！ 外国からの留学生

市内にもキャンパスがある文教大学では文科省のインターンシップ制度に参画していて、ここ数年、秋に同大学への外国人留学生等が中村家住宅を訪れています。今年も9月30日、44名の学生が旧東方村中村家住宅に来館しました。それぞれが当館のいろいろな所に興味を持ち、そのことを話してくれました。

- ★トイレが男女別なのに驚きました。（多くの留学生）・・・多くの国の一般家庭では、トイレは男女兼用で、日本のように男性小用と和式便器の二つがあるのは珍しかったのでしょうか。もっとも最近の日本でも兼用が主流のようです。
- ★梁が曲がっているのは何故？（ニュージーランド）・・・アーチ型によって屋根の重量を受け止めていることを話すと納得したようでした。
- ★いくつも出入口があるのが面白いです。（中国、インドネシア）・・・多くは表と裏の二つなのでしょう。
- ★冬の暖房はどうしていたのですか。（韓国）・・・韓国の伝統的な住宅は日本の古民家と似ているようですが、冬は日本より寒いので、「オンドル」という床下・壁に台所の煙を巡らせる暖房が多かったようです。

文化財ボランティアの活躍

生涯学習課では昨年度から「文化財ボランティア」を募集して、登録された方に種々の活動に参加していただいています。これは次のような内容です。

【趣旨】生涯学習活動、市民活動の一環として越谷市の文化財行政に携わって頂くものです。

【募集】初夏の頃、「広報こしがや」等を通じて募集の案内を致します。応募された方は所定の講座に参加して頂き、その後に文化財ボランティアとして登録されます。

【活動】市域の埋蔵文化財発掘作業、出土した遺物の洗浄、小学生の社会科見学の支援、古文書整理の作業等からご自分のお好きな活動にご都合のよい日時に参加していただいています。



土器洗浄作業：山羊や馬の毛の歯ブラシを使います。

古文書保存のための整理作業



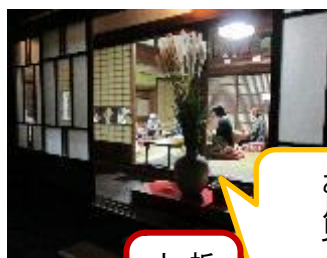
こんな取り組みも行いました



ひがしかた寺子屋・お手玉作り 10月5日



木目込み人形教室 十月一七日



折り紙細工教室 十月九、二三、十一月六日



開館記念イベント 11月14日

お月見・大正琴を聴く会 九月十三日



大人の寺子屋・藁細工 十一月九日



マッチがこわい！